



余市町
企業版

ふるさと納税



「わくわくするよいち」を目指す 余市町まち・ひと・しごと創生推進プロジェクト



企業版ふるさと納税とは

概要 企業様が国の認定した地方公共団体(余市)の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、**法人関係税から税額控除**する仕組みです。

- 要件**
- 対象となる寄附は、10万円以上です。
 - 寄附できる企業様は、余市町以外に本社があること。
 - 青色申告書を提出している法人であることが必要です。
 - 寄附を行うことの代償として経済的な利益を受けることは禁止されています。

実質的な企業負担は
約1割です

例えば100万円を寄付すると、税の軽減効果が90万円です、実質的な企業負担は10万円になります。

「余市町」に関する
企業版ふるさと納税、
企業版ふるさと納税なら
ふるさとコネク→



寄附を募集する事業

- ①道の駅の開業(再建)プロジェクト
- ②余市町の強みを生かした産業振興
- ③交流人口の増加及び移住促進
- ④安心して生活・子育てができるまちづくり
- ④官民協働と広域連携を推進

詳しくは裏面をご覧ください。



余市町

余市町がなぜ寄附を募るのか

本町では1990年以降、出生率の低下や将来母親となる若い世代の減少による自然減が加速しています。2010年には21,258人であった人口が、2019年には18,645人となり、2万人を割り込みました。

若年層の転出超過は、高齢化が進む町の基幹産業である農業と水産業において、深刻な担い手不足を引き起こしています。このまま人口減少が進行すると、所得や生産性の低下、さらには地域経済の衰退によって地域社会が保てなくなるという、極めて深刻な事態に陥ることが危惧されます。この危機的状況を克服するためには、町内の多彩な**観光コンテンツやワイン産業など、本町ならではの魅力にさらに磨きをかけ**、町民が一丸となって課題に向き合う必要があります。

余市町の寄附募集事業

①道の駅の開業(再建)プロジェクト

余市町では、一大プロジェクトとして、「道の駅プロジェクト」を行います。

余市町が考えるメインテーマ

「未来にむけて住みやすいまちをつくる」

課題

- 既存道の駅の再編が求められている
- 俱知安余市道路の開通に伴うモビリティの変化
- 町民の移動手段・観光資源の周遊移動手段
- 後志自動車道・高規格道路の利用者の休憩施設の確保

②余市町の強みを生かした産業振興

ワイン用ブドウ栽培にあたり、既存の農業従事者への作物追加支援及び新規就農希望者への支援等で、**ワイン産業を牽引役として第一次産業の担い手を確保**し、地域経済の自立性を高めます。また、2024年度までに40件の町内起業支援を目指します。

④安心して生活・子育てができるまちづくり

雇用創出や観光の推進によって**安定した生活基盤を構築**し、2024年度までに合計特殊出生率1.7を目指します。

③交流人口の増加及び移住促進

ワインツーリズム等の観光を推進し、**札幌圏やニセコ圏からの来訪者数の増加**を町全域で目指します。また、移住窓口のワンストップ化によりサポート体制を充実させ、2024年度までに3,750人の転入者数を目指します。

⑤官民協働と広域連携を推進

他自治体との共同事業や交流事業による広域連携を推進し、2024年度までに16件の新たな共同事業創出を目指します。

お手続きのご案内

① 企業様 からの寄附のお申し出

下記のお問い合わせ先にメールでご相談ください。
その後、寄附申出書(余市町公式ホームページから取得)をご提出ください。

② 余市町 納付書の送付

寄附申出書にご記載の額の納付書をご送付します。

③ 企業様 寄附金のご納付

納付書により指定の金融機関からご納付ください。

④ 余市町 受領書の送付

寄附金のご納付の確認・手続き完了後、受領証をご郵送いたします。

⑤ 企業様 税のご申告

受領証に基づき、課税庁に地方創生応援税制の適用がある旨を申告し、税法上の優遇借地を受けます。

余市町の明るい未来のために企業のみなさまのご支援をお待ちしています

〈お問い合わせ〉

業務
委託先

株式会社 Yoichi Reosrt

〒046-0004 余市郡余市町大川町2丁目26 グランデリビエール #401

TEL 0135-48-5140 ◆担当：佐々木・五十嵐